

<p>【技術の名称】 家のねっこ工法 -既製コンクリート柱状材を用いた地盤補強工法 - (改定2)</p>	<p>性能証明番号：GBRC 性能証明 第17-14号 改2 性能証明発効日：2023年10月4日 性能証明の有効期限：2026年10月末日</p> <p>【取得者】 株式会社池永セメント工業所 株式会社コンクレタス</p>
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【技術の概要】

本技術は、独自形状の既製コンクリート柱状材を、圧入工法により地盤中に押し込み、これを杭状地盤補強材（以下、“補強材”と称す）として利用する技術である。施工機に併設されるオーガにより先行掘削を行うことで、周面摩擦力を期待する土質判定や施工性の向上を図っている。また、施工機により圧入力を計測し、管理圧入力（長期支持力の2倍に相当）以上を確認する支持力管理を行っている。

なお、本工法による補強地盤の鉛直支持力は、基礎底面下の地盤の支持力を無視して補強材の支持力のみを考慮することとしている。

【改定・更新の内容】

新規：GBRC 性能証明 第17-14号 (2017年8月8日)

改定1：GBRC 性能証明 第17-14号改1 (2018年7月19日)

- ・申込者の追加（株式会社コンクリートライセンス機構の追加）
- ・ほぞ継手金具を追加（金具Cを追加）
- ・小規模構造物の地盤調査箇所数に関する規定追加

更新：GBRC 性能証明第17-14号改1（更1）(2021年7月1日)

改定2：GBRC 性能証明 第17-14号改2 (2023年10月4日)

- ・継手の追加（I型およびII型）
- ・砂質土地盤における適用地盤の範囲拡大（ N' ,個々の N' の上限値）

【技術開発の趣旨】

本技術では、JIS 認証品あるいは JIS 適合品である既製コンクリート柱状材を使用することで、補強材の品質確保を図っている。補強材を円形を改良した独自形状とすることで製作・運搬上の合理化が可能となり、また、補強材長さを1m~7mの範囲で0.5m単位で自由に選択できることで設計の自由度を高めている。

【性能証明の内容】

本技術についての性能証明の内容は、単杭状の補強材の鉛直支持力についてのみを対象としており、以下の通りである。

申込者が提案する「家のねっこ工法 設計・施工指針」に従って施工された補強材の許容支持力を定める際に必要な地盤で決まる極限支持力は、同指針に定めるスクリーウエイト貫入試験の結果に基づく支持力算定式で適切に評価できる。

また、本技術については、規定された施工管理体制が適切に運用され、工法が適正に使用されている。



写真-1 補強材および施工状況

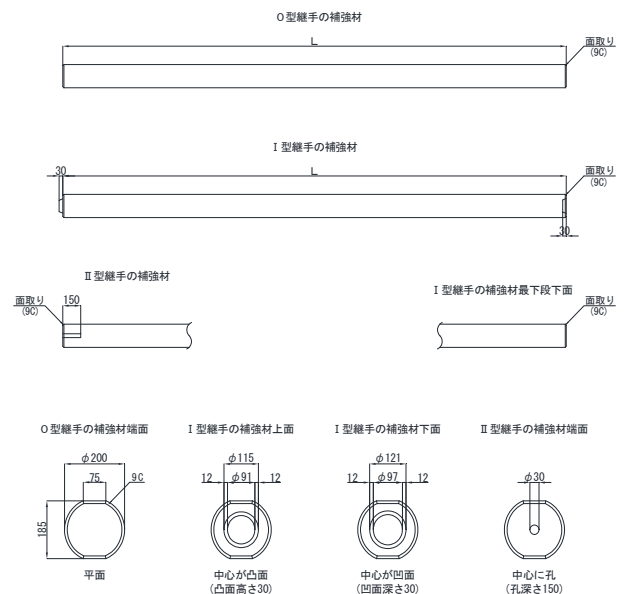


図-1 補強材の構造図

【本技術の問合せ先】

株式会社池永セメント工業所 担当者：土谷 喜太郎
 〒879-7761 大分県大分市大字中戸次 4763
 株式会社コンクレタス 担当者：池永 征司
 〒870-1133 大分県大分市大字宮崎 1384 番1 工藤ビル 101

E-mail：tsuchiya.kitaro@ikenaga-c.jp
 TEL：097-597-3113 FAX：097-597-3116
 E-mail：Ikenaga.seiji@c-l.co.jp
 TEL：097-585-5830 FAX：03-6740-6481